

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104060	学力向上推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		19,636	21,697		2,061
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,331	1,734		403
	地方債	0	0		0
	その他	0	18,000		18,000
	一般財源	18,305	1,963		-16,342

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

児童生徒の学力向上を図るためには、少人数指導によるきめ細かな指導の充実と、教師の授業力及び指導力の向上が必要であると考え、この事業を開始した。
家庭学習の時間が県及び全国に比べて少なく、学習の定着が課題となっている。

事業概要

学力向上支援員・はなまき授業サポーター・中学サポーター 14,985千円
児童生徒の学力向上を図るため、学力向上支援員、はなまき授業サポーター及び中学サポーターを配置（学力向上支援員：1人、はなまき授業サポーター：6校8人、中学サポーター：4校4人）
学習定着教材の活用 844千円
中学1・2年生の数学と英語の学力向上を図るため、補充教材として学習定着シートを活用
到達度学力検査・知能検査 3,045千円
児童生徒の学力を把握する到達度学力検査及び個々に応じた学習指導の充実を図る知能検査を実施
漢字能力検定料助成 2,625千円
読解力向上と家庭学習の習慣付けを図るため、小学5・6年生を対象に検定料（年1回分）を全額助成
FMラジオ番組放送業務委託 198千円
小中学校が休校となった場合にも児童生徒の学力の維持・向上を図るため、FMラジオ番組を制作・放送

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 学力向上推進事業 21,697千円
- 学力向上支援員 2,390千円
学力調査等の結果を分析し、学力向上の取組を支援する学力向上支援員1名を配置
報酬等 2,349,550円 費用弁償 40,160円
 - はなまき授業サポーター 8,370千円
児童の学力向上を図るため、30名を超える学級を有する小学校（6校）にはなまき授業サポーター8名を配置
報酬等 8,370,171円
 - 中学サポーター 4,225千円
生徒の学力向上を図るため、30名を超える学級を有する中学校（4校）に中学サポーター4名を配置
報酬等 4,225,361円
 - 学習定着教材の活用 844千円
中学1・2年生の数学と英語の学力向上を図るため、補充教材として学習定着シート（Gアップシート）を活用
印刷製本費 843,975円
 - 到達度学力検査（CRT） 2,056千円
児童生徒の学力を把握するため、全国的に用いられている到達度学力検査を実施
消耗品費 1,010,800円 検査料 1,044,880円
 - 知能検査 989千円
個々に応じた学習指導の充実を図るため、到達度学力検査と関連する知能検査を実施
消耗品費 572,930円 検査料 416,130円
 - 漢字能力検定料助成 2,625千円
読解力向上と家庭学習の習慣、動機付けを図るため、小学5・6年生を対象に検定料（年1回分）を全額助成
検定料 2,624,673円
 - FMラジオ番組放送業務委託 198千円
新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校が休校となった場合にも児童生徒の学力の維持・向上を図るため、コミュニティFMラジオ番組「おうちが教室～先生は787～」を制作・放送
業務委託料 198,000円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104060	学力向上推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104100	まなび交流学習事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		67	64		-3
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	67	64		-3

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

すべての児童に発達段階に応じた学びの場を提供することが市の責任であることから、この事業を開始する。

事業概要

まなび交流学習支援 64千円
 小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援
 笹間第一小学校と笹間第二小学校 5回
 大迫小学校と内川目小学校と亀ヶ森小学校 24回

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

まなび交流学習事業 64千円
 児童の移動に係る車両の借上料 63,784円

【対象校】
 笹間第二小 笹間第一小の児童と実技教科等を実施 年5回
 内川目・亀ヶ森小 大迫小の児童と実技教科等を実施 年24回

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104100	まなび交流学習事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104140	体力向上実践推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		128	110		-18
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	128	110		-18

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

各校における課題等が異なるため、統一的な取り組みでは十分な成果を上げることが難しいと判断し、各校の現状に即した取り組みを支援することとした。

事業概要

実践校の事業支援 110千円
 実践校(3校)を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援
 ・実践校 矢沢小学校、石鳥谷小学校、東和小学校
 ・取組内容 講師を招いてのスポーツ教室及び走運動教室、シャトルランの記録測定等

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

体力向上実践推進事業 110千円

実践校：矢沢小、石鳥谷小、東和小（指定1年目）

- 1 実践校の事業支援
 (1) 講師謝礼 75,000円
 (2) 講師旅費 6,320円
 (3) 消耗品費 29,040円

〔大きな「のびしろ」のある子どもの育成〕
 「走る」「跳ぶ」「投げる」の運動を楽しむことができる。

【目指す児童生徒の姿】

- 〔実践校における基礎体力向上推進のための支援〕
 (実践例)
 ・新体力テストの実施
 ・業間運動(マラソン、縄跳び等)の継続的な実施
 ・外部講師を招聘しての「スポーツ教室」
 ・上半期と下半期での児童の運動に対する意識の変化と成績や記録が向上した児童の割合を調査し、事業の成果を確認

〔実践校の指定〕
 実践校を指定。実践校と担当指導主事が協議し、実施計画書を作成
 指定した実践校と取組内容を校長会議等において報告

〔現状と課題〕
 全国的な風潮と同様に、当市の児童生徒も「体を使った遊び」の時間が少なく、またこれに伴い、体を使う楽しさを見出せていない状況から、基礎体力の向上が目に見えて進まない状況にある。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104140	体力向上実践推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104230	小学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		29,662	30,328		666
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	12,000	22,000		10,000
	一般財源	17,662	8,328		-9,334

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

学力・体力の向上

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。現在は直接雇用及び委託でJETプログラムは活用せず。

事業概要

小学生外国語教育推進 22,704千円
 各小学校に外国語指導助手（ALT）を派遣 6名
 3・4年生 各学級年間 35時間
 5・6年生 各学級年間 70時間
 外国語教育支援員の配置 7,624千円
 小学校外国語教育の充実を図るため、市内小学校を巡回する支援員を配置 1名

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

小学校外国語教育推進事業 30,328千円

- 各小学校に外国語指導助手（ALT）を派遣 22,704千円
 小学校3～6年生を対象に1クラスあたり週1回派遣
- 外国語教育支援員の配置 7,624千円
 小学校を巡回し、教員への助言・指導を行う。

【学校】
 計画・執行（授業）

派遣要請 調整

指導案 指導訪問

【学校教育課】
 派遣計画・調整

雇用・委託
 訪問指示

【外国語指導助手（雇用）】1人
 【外国語指導助手（委託）】5人

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104230	小学校外国語教育推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	1042A0	修学旅行キャンセル料支援事業費（小学校）

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	0		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

--	--	--	--	--	--

事業概要

修学旅行キャンセル料支援事業補助金 0円 新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を中止又は延期した際に発生する企画料等分のキャンセル料を支援する。					
---	--	--	--	--	--

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

修学旅行キャンセル料支援事業補助金 0円 新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を中止又は延期した際に発生する企画料等分のキャンセル料を支援する。 補助対象経費 交通費、宿泊代、弁当・食事代、拝観・入場料、有料道路・駐車料金等の諸費用、添乗費用、計画作成に係る企画料金等 補助金交付対象校数 0校 補助金交付対象者数 0人
--

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	1042A0	修学旅行キャンセル料支援事業費（小学校）

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104280	中学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		24,172	23,505		-667
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	10,300	17,000		6,700
	一般財源	13,872	6,505		-7,367

特定財源の内訳

--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~	
------	-------	------	---	--

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。

事業概要

中学生外国語教育推進 17,424千円
 各中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣 4名
 英語指導、スピーチ・コンテスト指導、英語教員の研修補助、学習教材の作成等
 英語検定料助成 6,081千円
 各中学校で実施する英語検定の検定料(年1回分)を全額助成
 英語検定問題集を各中学校で購入

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

中学校外国語教育推進事業 23,505千円

- 中学生外国語教育推進 17,424,000円
 各中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣
 英語指導、スピーチ・コンテスト指導、英語教員の研修補助、学校教材の作成等
- 英語検定料助成 6,081,092円
 各中学校で実施する英語検定の検定料(年1回分)を全額助成
 英語検定問題集を各中学校で購入

【学校】
計画・執行(授業)

派遣要請 調整 指導案 指導訪問

【学校教育課】 委託
派遣計画・調整 訪問指示 【外国語指導助手(委託)】4人

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104280	中学校外国語教育推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	1042B0	修学旅行キャンセル料支援事業費（中学校）

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	1,886		1,886
財源内訳	国費	0	1,886		1,886
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

事業概要
修学旅行キャンセル料支援事業補助金 1,886千円

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

修学旅行キャンセル料支援事業補助金 1,885,959円
 新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を中止又は延期した際に発生する企画料等分のキャンセル料を支援する。
 補助対象経費 計画作成に係る企画料金等
 補助金交付対象校数 9校
 補助金交付対象者数 779人（生徒の保護者 748人 教職員 31人）

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	1042B0	修学旅行キャンセル料支援事業費（中学校）

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104710	学校保健事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		63,609	87,041		23,432
財源内訳	国費	0	25,488		25,488
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	3,030	3,066		36
	一般財源	60,579	58,487		-2,092

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

昭和33年制定の学校保健法（現：学校保健安全法）に基づき、児童生徒及び教職員の健康安全を保持増進するために、学校において保健管理を実施している。

事業概要

学校保健管理 86,841千円
 児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施
 花巻市学校保健会補助 200千円
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重幡 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

児童生徒の生活習慣病予防については、家庭での規則正しい食生活が予防のポイントであり、掛かりつけの病院の医師から本人と保護者への継続的指導が一番効果的なことから、学校長を通じて受診するよう促していくものとする。

事業手法の詳細 1

学校保健事業 R2 87,041千円（R1 63,609千円 前年度比23,432千円）

1. 学校保健管理 R2 86,841千円（R1 63,409千円 前年比23,432千円）
 児童生徒の健康保持のための健診及び検査に要する費用
 1節 報酬 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師 22,973千円
 7節 謝礼金 ・健診時看護師謝礼金 407千円、学校保健委員会出席謝礼金 78千円
 8節 旅費 ・就学時健診健診に際する費用弁償 1千円
 10節 需用費 ・消耗品費 9,826千円、印刷費 1,042千円（結核健診問診票、封筒、健康観察簿、健康カード、健康診断票等）、医薬材料費 5,590千円
 11節 役務費 ・通信運搬費 229千円、手数料555千円（学校プール水質検査、オーディオメータ点検等）保険料6,377千円（日本スポーツ振興センター、岩手県学校安全互助会）
 12節 委託料 ・教職員健診業務委託 7,353千円、12,847千円
 13節 賃借料 ・自動車借上料 304千円、2,360千円
 17節 備品購入費 ・学校保健用備品購入費16,899千円
2. 花巻市学校保健会補助 R2 200千円（R1 200千円 前年度比増減なし）
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助金交付
 18節 補助金 ・花巻市学校保健会補助金 200千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104710	学校保健事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

学校保健事業

【学 校】
児童生徒及び教職員に対し、学校保健安全法に基づいた健診を実施



児童生徒 及び 教職員



医療機関

- ・ 医師会や歯科医師会と連携し、円滑な健康診断を行う。

- ・ 再検査や精密検査の必要が生じた際には、児童生徒及び教職員に対し説明を行い、医療機関の受診を促す。

- ・ 早期受診や継続治療を促し、早期の治癒を目指す。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104720	小中学校スポーツ振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,950	2,130		-1,820
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,950	2,130		-1,820

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

中学校総合体育大会等の各種大会を当該団体の主催事業として実施するに当たり、当該団体を構成する学校が所在する市町村において、その経費の一部を負担し、円滑な大会運営を支援している。

事業概要

花巻市中学校体育連盟事業補助金 2,130千円
市中学校体育連盟が実施する各種事業に対し補助

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

小中学校スポーツ振興事業 2,130千円

- 1 花巻市中学校体育連盟事業補助金 2,130,000円
市中学校体育連盟が実施する各種事業（中総体、中総体新人戦、駅伝競走大会）に対し補助

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104720	小中学校スポーツ振興事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3